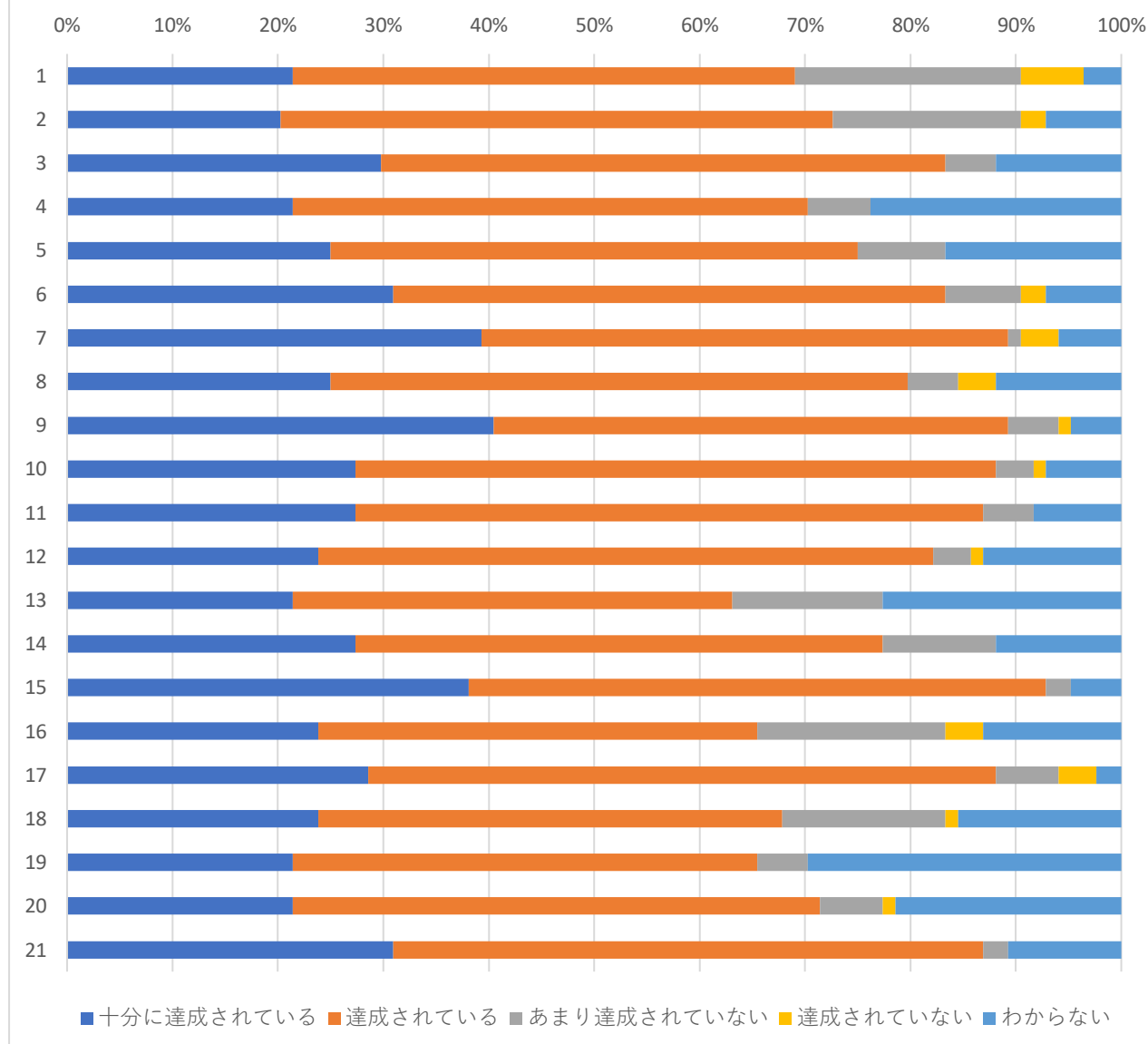


令和4年度 学校評価結果



質問項目

- 1 お子さんは自ら進んで授業をはじめとして学校の学習に取り組んでいますか。
- 2 学校は、お子さんの進捗や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。
- 3 学校は、子供同士で意見交換をしたり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。
- 4 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。
- 5 学校は、前出の質問①から④の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。
- 6 お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。
- 7 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。
- 8 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

- 9 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home & School などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。
- 10 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えてありますか。
- 11 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。
- 12 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。
- 13 学校は、デジタル・シティズンシップが身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。
- 14 学校は、おもしろ理科講座やプログラミング教育を行い、理数教育への興味・関心を高めていますか。
- 15 学校は、運動会などの学校行事を充実させ、自主的な活動を促していますか。
- 16 学校は、宿題や課題などで学習習慣を身に付けさせ、家庭学習に取り組めるようにしていますか。
- 17 学校は、社会のルールや安全性について適切に指導し、特に挨拶を大切に、生き生きとした学校生活を送るように指導していますか。
- 18 学校は、学校図書館の活用を図り、生徒の読書活動をすすめていますか。
- 19 学校は、アートマイル国際協働学習を通して、異文化を理解する力や主体的に考え行動する力を育てていますか。
- 20 学校は、新聞をさまざまな学習に活用することで、社会への関心を高め、考えを深める教育をしていますか。
- 21 学校は、生徒の防災、交通安全、健康について積極的に活動していますか。

【分析】

〈課題〉

質問 1 の結果を見ると、学校の授業と家庭学習の連携が見えづらかったのではないかと思います。そのため、タブレット端末を活用した「個別最適な学び」の実現のために、学校での学びと連携した家庭学習など全教科で考え取り組んでいきます。

質問 2 に関しては、本校では生徒に合わせた学習支援を実施しています。数学・英語の少人数授業や、学習支援員、大学生ボランティア SAM など人材を確保した学習支援も行っています。来年度は参観の機会をもっと呼び掛けて多くの保護者の方に学習の様子を見ていただくようにします。

質問 4・19 は、本校のシブヤ科の取組内容です。今年度は、SDGs の学習をインドネシアの学校と共に進め、テーマに沿った絵を描き上げる国際協働学習へと発展させました。来年度は参観の機会をもっと呼び掛けて多くの保護者の方に学習の様子を見ていただくようにします。

質問 13 は、デジタル・シティズンシップという言葉が分かりづらかった印象を受けます。デジタル・シティズンシップとは、「デジタル技術の適切な利用を通じて、自ら判断して、社会に積極的に関与し、参加する能力」のことです。年 2 回のセーフティ教室で、情報モラルや SNS の危険性、ネットとの付き合い方やマナーなどについて学習を重ねていますが、今後デジタル技術を用いて積極的に社会に関与し、参加する力を身に付けさせることは大きな課題となります。

〈成果〉

質問 7・9・15 は高評価でした。学校では来年度も引き続き、生徒・保護者の皆さんの気持ちに寄り添った教育活動に努めます。そして、通常の形にできるだけ戻した学校行事をご覧いただけるように準備したいと考えています。来年度も本校の教育活動に、より一層ご理解・ご協力をお願いいたします。